

ノヤマ通信

vol.44 (2026.卯月)



森のようちえんヒュッテ

【3月の活動記録：3日山の基地、9日山の基地、12日山の基地、19日宇和運動公園、26日山の基地】

●活動を見つめるコラム

「ヒュッテという場について、あらためて。」

新年度になりました。新しくメンバーに加わった方はようこそ。昨年度から引き続きの方は、また1年よろしくお願いします😊。

森のようちえんヒュッテは、もともとわが家の長女が1歳半のとき（2016年）に始めた「野山のお散歩会」という、月1〜2回の活動が出発点でした。その後、2017年から「森のようちえんヒュッテ」という名前で、週2回の定期的な活動となりました。

ヒュッテという名前については、ホームページで次のように記しています。

“ヒュッテ (hütte) は、ドイツ語で山小屋という意味です。山小屋は、登山者が立ち寄り旅を続ける準備をする場所。子どもたちが学校という社会に旅立つ前に必要な準備を、地域の豊かな自然の中でしっかりできる場所をつくりたいという想いから名づけました。”

この名前で活動を始めて10年が経った今、あらためてこの表現を読み返すと、活動を始めた当初とは少し違った印象を持ちます。

活動の初期は、「子どもたちが社会に旅立つ前に必要な準備をしっかりとできるように」と、「子ども」を主語に場づくりを考えていました。しかし、活動が続ける中で、親子で共に過ごす時間の大切さを実感するようになりました。「子どもと共に、大人も親として成長している」「子どもとの関わりを練習している」という感覚が、自分たちの中で強くなってきたのです。つまり、「社会に旅立つ前の準備を、大人も子どもも共に重ねていく場所をつくりたい」という考えへと変化してきたのです。

わが子は今年からみんな小学校に入学しましたが、一人ひとりを見守り、関わっていくことの大切さは変わらないと感じています😊。大人もまた、考えたり失敗したりしながら、共に育っていけたらと思います。あらためて、どうぞよろしくお願いいたします。

(ゆ)



▲3/23森のようちえん@山の基地

山の基地

【3月の活動記録：14日、28日…開放日、5日…日常管理】

●気温が上がってきた3月は、開放日にもぎやか。赤ちゃん連れのファミリー👨👩👧👦がやってきてくれたり、によきによき出てきたツクシを採って食べたりと、のどかな時間が流れていました。



●3/28の開放日は、子どもたちに手伝ってもらいながら、ちょっとした作業をしました。手洗い用の水タンクをいつも置いている場所の足元が、水がたまってぬかるみがちなので、それを解消できたらなあと思っておりまして。そこで地面に縦穴を掘り、その穴に木の枝などを詰め込んで空気や水の通りがよくなる「天穴」というものをいくつか掘ってみました。効果はいかに?! 😞



※右上の写真は作業途中なので、地面から枝が飛び出ていますが、最終的に地面と同じ高さで切りそろえています。どこに穴があるか探してみてください😊。

✿✿ その他の活動

●明浜のジオ研修(3/7)

地域の魅力を自分の言葉で語れる人材の育成を目的に4か月連続で行ってきた、西予市明浜町（高山）でのジオパーク研修。最終回は、受講者のみなさんに自分が紹介したい地域の見どころを紹介してもらいました。



「私はこれが好き」と丁寧に語り、それを同じ地域に住む人と共有するって、すごく大切なことだとあらためて感じました。講座は終わりますが、実際にツアーを組み立てるまで伴走します 🚶🏻。

●上松葉奥池ビオトープの管理 (3/10、16)

湿地に生える希少な草花、アゼオトギリの保全のために草刈りを行いました。アゼオトギリの芽生えが日の光をしっかりと浴びられるようになりました ☀️。



●渡り鳥の調査 (3/11)

春が訪れ、秋から冬にかけて続けていた、渡り鳥（カモやツル）の調査も終わりました。この日は、ツルが利用していた田んぼで食べものがどれくらい消費されたかを調査しました。



●西予市議会の傍聴 (3/19)

3月の定例会に、市内の宇和町田之筋地区住民から、大判山周辺に計画されている風力発電への反対に関する請願が出されていました。私たちが活動しているフィールド、山の基地にも関わる問題なので、その請願を採択するかどうかという議論の傍聴に行ってきました 😊。

結果は「継続審査」ということで、その場では採択とはなりませんでしたが、公開の場で議論されることには一定の意味があったのではないかと思います（会議録が公開されたら、見てみてください。）引き続き、この問題には取り組んでいきたいと考えています。

●森のようちえんの映画上映会 (3/29)

3/29、えひめ自然保育連盟が制作したドキュメンタリー映画『森のかんばせ』の上映会を、西予市で開催しました。（ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました 😊）

この映画は、愛媛県内5つの森のようちえんの活動を記録した映像で、松山・新居浜に続き、今回で3回目の上映会。今回は、映像を鑑賞して感じたことや、「どんな環境で子どもを育てたいか？」について、来場者同士でおしゃべりする時間を設けました。

当日は、保育園の先生、森のようちえんに通うご家族、子どもを取り巻く社会に関心のある方など、いろんな方と「子どもが育つ環境」について考えることができました。

「環境」と一口に言っても、その捉え方や関わり方はさまざまです。あらためて、ゆっくりと語り合ってみたいテーマだと感じました。



●その他、会議もろもろ

四国西予ジオミュージアム運営委員会に委員として出席、ツル・コウノトリと共生するまちづくり計画策定委員会に事務局として参加など。（ゆ）

🐣 よもやま話

春休みの初日に、子どもたちと一緒に映画『私がビーバーになる時』を見に行ってきました！子どもたちの熱？圧力？が強くて、連れて行ってあげないかなという思いで出発しようとしていた矢先、夫から「あれ、自然保護の映画らしいんよ」と言われ、俄然、私の方が前のめりになりました（笑）。そして、とてもおもしろかったです。

たくさん動物が出てくるのですが、生き物の生態、生態系、弱肉強食など自然の要素が、子どもたちにも感覚的に理解しやすいお話でした。心に残るセリフがたくさんあったのですが、暗闇の中ではあまりメモも取れず、私の方がはまり、もう何度か観に行きたいと思う作品でした。もし見に行かれた方は、感想をお聞かせください～！（ち）



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稻生237-1

✉ noyama.company@gmail.com